

図書館員のひみつの本棚 第154回

今月はイタリアの物語です。

『チポリーノの冒険』（岩波少年文庫）

ジャンニ・ロダーリ／作 関口 英子／訳 岩波書店 2010年 864円

<お勧め年齢>

乳幼児—— 低学年—— 中学年—— 高学年☆☆☆ 中学生☆☆
高校—— 一般——

（☆が多い年齢の子どもにお勧めです。）

<本の紹介>

玉ねぎの男の子チポリーノが、無実の罪で牢屋に入れられた父親を助けるため、仲間たちと、人々を苦しめるレモン大公やトマト騎士に立ち向かう痛快な冒険物語。

<子どもに手渡す時のポイント>

1951年にイタリアで刊行された物語。著者は国際アンデルセン賞の作家賞を受賞しています。

人々を苦しめる側が果物、立ち向かう側の人々が野菜、と設定は可愛らしいのですが、アイロニー（皮肉）を含んだ物語は、人間社会のあり様をしっかりと描き、そこにポジティブなユーモアがたっぷりと加えられ、テンポのよい展開がそれを引き立ててくれます。

ぜひ高学年以上の子どもに手渡してみてください

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

